

(別紙)

文部科学省が一般的に考える外国語指導助手 (ALT)  
とのチーム・ティーチングにおけるALTの役割

学級担任または教科等担当教員 (以下「担当教員」という。) とALTとのチーム・ティーチングにおけるALTの役割は以下のとおり。

○ALTは基本的には担当教員の指導のもと、担当教員が行う授業にかかる補助をする。

(1) 授業前

学校 (担当教員) が作成した指導計画・学習指導案に基づき、授業の打ち合わせを行うとともに、教材作成等を補助する。

- ・授業の目的、指導内容を理解
- ・指導手順、指導の役割分担、教材等を把握
- ・教材作成やその補助

(2) 授業中

担当教員の指導のもと、担当教員が行う授業を補助する。

(ALTが行う役割の例)

- 言語活動における児童生徒に対する指導の補助
- ・活動についての説明、助言、講評
- ・言語モデルの提示
- ・音声、表現、文法等についてのチェックや助言
- ・児童生徒との会話
- ・母国の言語や文化についての情報の提供 等

(3) 授業後

担当教員と共に、自らの業務に関する評価を行い、改善方法について話し合う。

※ 上記における補助とは、担当教員が作成した指導計画・学習指導案に基づき、担当教員とALTが役割分担をして授業を進めるものも含む。その場合においても、学校教育法上、授業全体を主導するのは、あくまでも担当教員である。

- ・「教諭は、児童の教育をつかさどる。」(学校教育法第37条第11項)
- ・「…第37条…の規定は、中学校に準用する。」(学校教育法第49条)
- ・「…第37条…の規定は、高等学校に準用する。」(学校教育法第62条)